

安全データシート

作成日 2015年11月04日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	GC5/Sikasil-FDA
製品コード	317951
供給者の会社名	アルファ・ラバル株式会社
住所	神奈川県高座郡寒川町一ノ宮7-11-2
電話番号	0467-75-3682
推奨用途及び使用上の制限	洗浄剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分外 自然発火性液体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外 皮膚腐食性及び刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分外 水生環境有害性(長期間) 区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語
危険有害性情報

危険
皮膚刺激
重篤な眼の損傷

注意書き
安全対策

保護手袋を着用すること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
換気の良い冷所で保管すること。
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

保管
廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
エチルトリアセトキシシラン	1～3%	(CH ₃ CO ₂) 3SiCH ₂ CH 3	(9)-1939	既存	17689-77-9
トリアセトキシメチルシラン	1～3%	(CH ₃ CO ₂) 3SiCH ₃	(9)-1939	2-(3)-229	4253-34-3
その他(非危険有害物)	94～98%	特定できない	不明	不明	---

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の泡消火剤。

使ってはならない消火剤

大火災：散水、水噴霧、一般の泡消火剤。

特有の危険有害性

棒状注水。

可燃性物質：燃えるが、容易に発火しない。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。

火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

空気式呼吸器(SCBA)を着用する。

防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外は近づけない。

風上に留まる。

作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

低地から離れる。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

環境中に放出してはならない。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

少量の場合、砂あるいは不燃性吸収材を用いて集め、容器に入れて後で廃棄する。

大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。危険でなければ漏れを止める。

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法・機材

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

火気注意。

眼に入れないこと。

排気用の換気を行うこと。

飲み込みを避けること。

皮膚との接触を避けること。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

眼、皮膚との接触を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避 衛生対策

保管

安全な保管条件

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。

酸化剤から離して保管する。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉して保管すること。

安全な容器包装材料

消防法で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2014年版)	ACGIH (2015年版)
エチルトリアセトキシシラン	未査定	未設定	未設定
トリアセトキシメチルシラン	未設定	未設定	未設定

その他(非危険有害物)	未設定	未設定	未設定
設備対策		本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。	
保護具	呼吸器の保護具	換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。	
	手の保護具	保護手袋を着用すること。	
	眼の保護具	眼の保護具を着用すること。 化学飛沫用のゴーグル及び規格にあった顔面保護具を着用すること。 安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。	
	皮膚及び身体の保護具	顔面用の保護具を着用すること。	
9. 物理的及び化学的性質			
外観	物理的状态	液体	
	形状	粘濁液体	
	色	種々の色	
臭い		特異臭	
臭いのしきい(閾)値		データなし	
pH		データなし	
融点・凝固点		データなし	
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし	
引火点		>101°C(密閉式)	
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし	
燃焼性(固体、気体)		適用されない	
燃焼又は爆発範囲	下限	データなし	
	上限	データなし	
蒸気圧		データなし	
蒸気密度(空気=1)		データなし	
比重(密度)		0.98-1.05g/cm ³ (25°C)	
溶解度		水に不溶	
n-オクタノール／水分配係数		データなし	
自然発火温度		データなし	
分解温度		データなし	
粘度(粘性率)		データなし	
10. 安定性及び反応性			
反応性		通常の条件では危険有害な反応は起こらない。	
化学的安定性		通常の保管および取扱いの条件においては安定である。	
危険有害反応可能性		過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。	
避けるべき条件		情報なし	
混触危険物質		情報なし	
危険有害な分解生成物		通常の取扱いの条件においては危険な分解生成物は生成しない。	
11. 有害性情報			

急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、エチルトリアセトキシシラン 1462mg/kg、トリアセトキシメチルシラン 1602mg/kg、その他(非危険有害性) >5000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が4585mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。
	経皮	成分の急性毒性値は、その他(非危険有害性) >5000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が5209mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。
	吸入(蒸気) 吸入(ミスト)	データがなく分類できない。 データがなく分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		トリアセトキシメチルシラン、エチルトリアセトキシシランが区分1、区分1の成分濃度x10の成分濃度の合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「皮膚刺激」に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		エチルトリアセトキシシラン、トリアセトキシメチルシランが区分1、成分濃度の合計が濃度限界(3%)以上のため、GHS:区分1「重篤な眼の損傷」に該当する。
呼吸器感作性		データがなく分類できない。
皮膚感作性		データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性		データがなく分類できない。
発がん性		区分2の濃度が濃度限界(1.0%)未満であるため分類されない。
生殖毒性		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分2の濃度が濃度限界(10.0%)未満であるため分類されない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分2(分類に寄与しない):エチルトリアセトキシシラン(全身毒性)、トリアセトキシメチルシラン(全身毒性)
吸引性呼吸器有害性		データがなく分類できない。 データがなく分類できない。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		すべての成分がいずれも区分外のため、GHS:区分外に該当する。
水生環境有害性(長期間)		すべての成分がいずれも区分外のため、GHS:区分外に該当する。
オゾン層への有害性		モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装		容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意		
国際規則	Regulatory Information by Sea	Not dangerous goods

	Regulatory Information by Air	Not dangerous goods
国内規制	陸上規制 海上規制情報 航空規制情報	消防法の規定に従う。 非危険物 非危険物
特別の安全対策		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 移動の際に、転倒、衝撃、摩擦、圧壊、漏洩などを生じないようにする。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。 運搬中の事故等により災害が発生した場合は、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。 重量物を上積みしない。 輸送時にイエローカードを携帯する。
緊急時応急措置指針番号		
15. 適用法令		
消防法		第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)
16. その他の情報		
連絡先		アルファ・ラバル株式会社
参考文献		NITE GHS分類公表データ RTECS Sika Sverige ABのSDS 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではあり ませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、 注意事項は、通常取り扱いを対象としたものでありま す。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願い します。